

2015年4月1日

報道関係各位

田辺三菱製薬株式会社

## VMAT2阻害剤「NBI-98854」のライセンス契約締結について

田辺三菱製薬株式会社(大阪市、代表取締役社長:三津家 正之)は、このたび、ニューロクラインバイオサイエンス社(米国サンディエゴ)との間で、NBI-98854 に関する日本およびアジアにおける独占的開発・販売権に係るライセンス契約を2015年3月31日付で締結しましたのでお知らせします。

NBI-98854 は、神経終末に存在するVMAT2 (小胞モノアミントランスポータータイプ2) を阻害することにより、ドパミン等の神経伝達物質のシナプス前小胞への取込みを減らし、不随意運動の発生に関わるドパミン神経系の機能を正常化させます。今回の契約締結により、当社はハンチントン病に伴う舞踏運動、遅発性ジスキネジアを適応症として開発を進めるとともに、それ以外の適応症についてはニューロクラインバイオサイエンス社と協議・検討していく予定です。

ハンチントン病は、遺伝性の進行性神経変性疾患で、国内において指定難病に定められています。主な症状は、舞踏運動を主体とする不随意運動、精神症状および認知障害です。脳内の病変部位の神経内のドパミン量を調節することで、ハンチントン病の不随意運動を改善すると考えられています。

遅発性ジスキネジアは、抗精神病薬などを長期間服用することで起こる不随意運動で、ドパミンの感受性増加等が原因と考えられています。症状は患者ごとに異なり、舌を左右に動かす、口をもぐもぐさせるなど顔面に主に現れますが、四肢や体幹部でも認められます。重症になれば嚥下障害や呼吸困難になる可能性があります。NBI-98854 は、国内で最初の遅発性ジスキネジア治療薬として期待されます。

今回の契約締結により、当社はニューロクラインバイオサイエンス社に対して契約締結時一時金30百万ドルを支払います。さらに、本剤上市までに、開発および販売マイルストーンとして総額85百万ドルの追加一時金を支払う可能性があります。

田辺三菱製薬は、中枢神経系疾患を戦略領域のひとつに定め、アンメットメディカルニーズに応える、新製品の開発に積極的に取り組んでいきます。

以上

《 本件に関するお問い合わせ先 》

田辺三菱製薬株式会社 広報部

TEL:06-6205-5211 (本社)

TEL:03-6748-7664(東京本社)